

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホップステップこっちゃん		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		令和6年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	インクルーシブ教育(※障がいや国籍、性別などさまざまな違いがある子供たちが共に学びあう教育です。多様性を尊重し、共生社会の実現を目指しています。)を重視し地域イベントなどへの参加や外出活動が豊富。社会性向上を図る。	地域のひととの交流ができる買い物体験、地域学校でのイベント参加、子ども食堂の利用など積極的参加により様々な体験をし感覚統合の能力を伸ばし社会性を身につけています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域のひとと継続的な関わりと情報共有を図る。</li> <li>●外出先イベントの情報収集</li> </ul>
2	リスクマネジメントをしっかりと立てた計画を実施しています。日々、今日より明日がよりよい内容リスクを考え安全に安心して活動できるよう計画を何度も話し合い職員の質の向上も毎月個別で実施しています。	リスクマネジメント・事故を未然に防ぐ対策を工夫しています。子ども達と保護者、職員間とのコミュニケーションを確保する事によりPOINTに気づくことが多くあります。その内容を日々整理し予防に努めています。その内容を踏まえお出かけ日々の活動にリスクがないか下見で危険な事はないかなどを検討し記録、報告反省をひとつひとつ確認周知徹底に努めています。実施後もヒヤリや事故があった場合は危機管理として記録整備を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当者を設定しリスク回避を目指す。計画書への記載。※現在も実施していますが、今以上に細かく設定出来ればさらなる充実が図れる。</li> <li>●安全安心の為の人員配置</li> </ul>
3	5領域を踏まえた活動を取り入れ、日常生活動作の自立に向けて個別練習を行っています。	発達スピードに合わせて安心して楽しく活動に参加できるように工夫しています。日常生活動作の面ではご家庭の情報共有や協力が不可欠な為個別トレーニングの内容を日々共有し記録しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発達スピードに合わせて安心して楽しく活動に参加できるよう工夫している、</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング(※注意欠如多動症、自閉スペクトラム症等の子ども子どもの問題行動の改善を主なねらいとしたプログラム)の取組。	必要時、面談などでは口頭でお伝えしていましたがご利用児・保護者様全員にお届け出来ていたかが把握できていませんでした。どのような形が保護者様の時間等迷惑にならないかを検討していました。様々なご家庭の状況を考えながら最善策意見が色々出たため実施が延びていたのが現状です。	同じように全ご家庭が確認でき、質問・相談等できるシステム等を検討し令和7年度に実施します。
2	保護者同士の交流。	意見が様々な為どのように実施しているかを他施設と連携し検討していく。	まずは、イベントに参加して頂き楽しく交流できる内容を工夫していきたいと思っています。
3	専門的知識を高める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門的資格取得</li> <li>●動画研修(外部研修)の参加</li> <li>●自事業での外部研修動画を継続的に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年間研修ではなく個別に必要な研修の計画を作成する。</li> </ul>